

令和5年度 授業改善推進プラン (小学校・専科教員用)

福生第三小学校

図画工作科	教科担任 ○○ ○○
児童の実態	<p>2年生 身近な題材を通して、知識及び技能面での形の理解、形を作る、色の理解、色を作るなどの学習はできている。授業規律を意識して取り組む児童が増えてきた。</p> <p>3年生 知識及び技能面での形の理解、形を作る、色の理解、色を作るなどの学習はできている。授業規律を意識して取り組む児童がほとんどである。</p> <p>4年生 昨年に比べて他者と協力する意識が高まってきた。他の人の良いところを見つけて、自分の作品に取り入れられる児童も増えてきた。授業規律も守れてきた。</p> <p>5年生 進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組むことができ、新しい表現方法や道具の使い方、集中して取り組むことに意欲的である。よく聞き、協力し合える児童が多い。個別で対応が必要な児童がいるが集団指導でも対応可。</p> <p>6年生 イメージが広がらない、試行錯誤しようとするが思いつかない児童が多い。用途に応じた形や色の理解、構成の美しさによって、主題の表し方が分からない児童が約半分いる。</p>
児童の実態を踏まえた授業改善の取組	<p>2年生 思考力・判断力・表現力を高めるために、造形遊びの活動を強化していく。体全体を動かして活動すると共に、引き続き授業規律の徹底を図る。</p> <p>3年生 試したり工夫したりする活動を強化しつつ、道具の使い方や、材料の組み合わせなどの知識を理解させる。体全体を動かして活動すると共に、引き続き授業規律の徹底を図る。</p> <p>4年生 学びに向かう力と人間性等を養うために、授業規律の徹底と毎時のめあて（どこまでやれば課題が終わるのか等の周知）の確認を行う。集中して取り組めるためにも児童同士の座席の配置や環境などにも配慮する。</p> <p>5年生 新たに学ぶ題材や道具について自分たちで考え、どのように取り組めばよいかなどの判断力や学びに向かう人間性等を養う。アイデアを共有しつつ、発表などの機会を増やしていく。</p> <p>6年生 思考力・判断力・表現力を高めるため、発問を増やし、身近な生活の中にも作品づくりに生かせるものが多いことに気付かせる。範例や、過去の作品のアイデアなどを見せて、5分程度アイデアの共有をしてから、作品づくりにとりかかる。</p>